

HIMEJI CONVENTION SUPPORT

2023～2024



事業報告



令和5年（第22期） 2023年度事業報告

※ **委** は委託事業、**自** は自主事業

今年度は、外国人観光客対応に備え、観光事業に注力した。1つ目は約10年ぶりに姫城城英語ガイド養成講座を開講したこと、2つ目は一人でも楽しめるよう日本語・英語のガイドアプリを開発したことである。

また起業家支援も充実化。これまでの起業プラザひょうご姫路に加えて地域しごとサポートセンター播磨を運営し、地域課題を解決するためのビジネスに対し、団体や法人設立の支援を行った。

①コンベンションの開催支援事業

(1) 姫路港ふれあいフェスティバルの開催 **委**

10月29日（日）飾磨津臨港公園

(2) 国際女性フェスタひめじ実行委員会事務局 **委**

大手前通りへのフラッグ掲出に加えて、姫路城をミモザ色にライトアップし、啓発活動を行った。

- ・大手前通りタペストリー掲出 2024年2月13日～3月9日
- ・姫路城ライトアップ 2024年3月8日



②人材育成事業

(1) 姫路城英語観光ガイド養成 **自**

コロナ禍収束後、増え続ける外国人観光客に対し、ガイドの不足が指摘されている中、10年ぶりに養成事業に着手した。

コロナ禍で需要がなくなり、ガイド職を離れた人が増えたうえ、高齢化も進んでいたため、育成が急務であった。

8回にわたる養成講座を開き、県内のほか大阪や横浜などから24人が受講。講師による実地研修のほか、郷土史家や刀匠から歴史を学んだり、外国人モニター延べ20人を実際に案内したり。21人が修了し、すでにガイドとして活動中である。

受講生からは「同様の講座は全国でたくさんあるが、実際に外国人を案内する実践的な学習ができたのは初めて」との声もあり、2024年度はさらにレベルを上げた「アドバンスコース」講座を開催する予定である。

日程：10月21日（土）～1月13日（土）

参加人数：24名



(2) 銀の馬車道・鉾石の道 高校生ワークショップ2023 **委**

若者たちへ、日本遺産「播但貫く、銀の馬車道・鉾石の道」の知名度や地域への愛着を高めること、将来的に地域を担う人材を育成すること、沿線の高校生のネットワーク化を図り、地域活動の活性化の一端を担うことを目的に実施した。

5回目となる2023年度の同事業のテーマは「バズる動画を作ろう」。沿線市町の5つ高校から28人が参加。5チームに分かれて活動をおこなった。



銀の馬車道の歴史を学んだうえで、You Tuberから企画作りや撮影時の注意点、編集作業などの指導を受け、各チームが思い思いの動画をスマホで撮影。完成披露発表会を開くとともに、YouTubeやInstagram、Tik Tokにアップした。

福崎町の河童・ガジロウが生野銀山を訪れて高校生と一緒に「銀馬車サンバ」を踊ったり、播但線の車窓からの眺めやレンタサイクルで散策しながら生野の町並みを紹介したり。歴史好きのグループは竹田城で合戦を“再現”するなど、自由な発想で遊び心にあふれた作品が揃った。高校生らは動画作成を楽しみながらも「名前だけしか知らなかった生野銀山が誇らしく、身近に感じられた」「他の高校生と親しくなれて良かった」などの感想があった。

③情報提供事業

(1) 週替わりアンテナショップ電博堂の運営 **自**

今年度は夏と冬の予約が少なく、稼働率は50%と低迷した。告知不足もあるが、店舗の構造上、暑さや寒さの対応がしづらいことがマイナス要因と考えられる。より利用しやすい環境とするため、今後はリフォームすることも検討したい。

(2) 姫路城下町観光アプリ開発事業 **自** P9・P10＝参照

姫路観光コンベンションビューローの観光産業活性化重点支援事業の一つとして補助金を受けて実施。慢性的なガイド不足などに対応すること、姫路城に上がれない人も自分のペースで観光を楽しめる観光アプリを開発した。今年度はAndroid版のみ。

日本語と英語の2種類があり下記の3コースを設定。GPS機能と連動させ、見どころに来ると映像や音声でガイドをするなど、1人でも観光を楽しめるものを開発した。

外国人向けと日本人向けに内容も別に制作し、外国人には歴史の詳細よりも木造建築でありながら400年も維持管理されてきた文化を中心に説明をおこなった。令和6年度はiOS版を開発。周知活動に力を入れ、ダウンロードしてもらい、内容もアップグレードする。



「筆文字アート」の展示

姫路城アプリ 3コース

- 姫路城を楽しむコース（2km）
- 姫路駅から三の丸広場まで、商店街も楽しむコース（2.5km）
- 姫路城に上らずにあらゆる角度から城を満喫するウォーキングコース（4.5km）



日本語アプリ



英語アプリ



④ 調査研究事業

(1) ウォークابل協議会事務局 委

2021年から自動運転ロボット「ラクロ」の実証実験を続けている。今年度は同協議会メンバーの日建設計(株)が国交省からの委託を受けた事業のサポート。「自動運転の走行ルール作り」の資料にするのが目的で、御幸通商店街と大手前通りの2コースで実施した。合わせて、通行人へのアンケートもおこなった。「左側通行と右側通行どちらがいいか」「専用道路の設置は必要か」などのヒアリングを行った。高齢者からは「楽なので、どんどん進めてほしい」、外国人観光客からも「環境にやさしい乗り物で好感が持てる」といった好意的な意見が多かった。

⑤ 普及啓発事業

(1) 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」サイクルトレイン 委

JRディスティネーションキャンペーンの一環として、例年より早い9月に実施。暑い時期だったので、熱中症などにかなり気を配ったが、全員けがもなく完走した。

サイクルトレインに55人、今年度新たに設けた「鉱石の道サイクルコース」には11人の計66人が参加した。

同イベントの重要な要素になっている沿線市町の皆さんによる「おもてなし」は、今回も充実。神子畑地区自治会が休憩場所の神子畑選鉱場跡で、参加者にブドウをふるまったり、神河町では山名宗吾町長自らが出向き、老舗和菓子店の菓子をサービスしたり。参加者からは「地域ごとにおもてなしがあり、食べたことがなかったおいしい食べ物を楽しめた」「沿道の人からの声援や励ましを受けて幸せな気分になった」など好評だった。

▼日程 9月10日(日)

▼参加人数 サイクルトレインコース 55名 鉱石の道サイクルコース 11名



(2) 銀の馬車道グルメで魅力アップ事業 委

銀の馬車道沿線では、白皮かぼちゃを鉱石に見立てた「銀馬車かぼちゃ」を活用し、グルメで沿線地域を盛り上げる取り組みを実施している。今年の取り組みは以下であった。



カフェ そらしーど(生野)のかぼちゃのスイーツ

●沿線市町のレストランでのメニュー提供

今年度は、鉱石の道エリアである養父市を含めたレストラン・菓子店など32店舗を選定。うち、新規は14店舗を数えた。考案されたメニューをパンフレットにまとめ、関係の観光協会や道の駅に配るとともに新聞折り込みもした。参加店舗を巡るスタンプラリーも、前年度に続いて実施。150件の応募があり、店舗や応募した皆さんがスタンプラリーの様子や当選して商品が届いた様子をインスタグラムに投稿するなど、この企画を楽しんでいる様子が広がり、銀馬車かぼちゃの知名度アップにつながった。



●銀の馬車道バーガーアイデアコンテスト

若年層への広がりを狙い、小中高校生を対象に銀馬車かぼちゃを使ったハンバーガーメニュー募集。応募数は前年度より少なかったが、子どもらしいユニークなアイデアが集まった。

最優秀賞に輝いたハンバーガーは、姫路市内の福祉作業所が運営する喫茶店で期間・個数限定で販売した。

同時に、SNSでのフォトコンテストも行ったところ、銀馬車かぼちゃを使った料理やかぼちゃのカービング(彫刻)などが投稿され、好評だった。



●ハロウィンイベント

福崎町で10月に開かれたハロウィンの地域イベントに合わせ、銀馬車かぼちゃを使ったハロウィンランタンを作るワークショップ(1人500円)を開催。親子連れら9組が参加した。このイベントを目的に来場したという人や、白い銀馬車かぼちゃを初めて知った人や出来栄えに大満足という子どもたちもいて、盛況だった。

▼日程 10月27日(金)

番外編

銀馬車かぼちゃの蔵出しイベント

8月より、生野銀山の坑道を利用して銀馬車道かぼちゃの追熟を試験的に初めて実施。その蔵出しに合わせ、バケツリレー形式で坑道から運び出す「蔵出しイベント」をしました。関係者や居合わせた観光客が一列になり、銀馬車かぼちゃを一つずつ手渡しで次から次に坑道外に搬出。現地ではテーマソング「かぼちゃの街道」を披露、メニュー提供に参加したレストランの協力で、ひとくちサイズの「銀馬車かぼちゃ3種のちびコロ」の試食会もし、PRに努めました。



⑥ 職業紹介事業

(1) 地域しごとサポートセンター播磨の開設 委

介護や福祉、まちづくりなど、地域の課題を解決するための取り組みをビジネスとして行っている地域住民や団体を支援するのが目的。担い手育成のための人材・団体の発掘や起業に向けた応援事業などを手がけた。主な事業は以下の通り。

●地域課題及び支援を要する個人・団体の調査、発掘、収集

姫路市市民活動ボランティアサポートセンターなど連携し、活動したい人・団体のための相談業務を実施。

●地域課題解決に向けた相談・助言

相談件数421件、相談者数584人。毎月第2水曜日には、西播磨文化会館で出張相談会も実施した。



● 設立支援

コミュニティビジネス（CB）起業セミナー（全5回）と市民活動応援セミナー（同）を開催。地域課題をビジネスの手法で取り組みたい人のための“お助け”講座（全8回）も企画し、定款や会則、事業計画書などの作成など、団体の進捗に応じた伴走型支援を行った。

● 普及啓発活動

NPOや市民団体のための運営・実務講座を開き、運営に必要な事務手続きに対する理解と実行力を強化した。CBビジネスとは何かを学ぶ勉強会や、IT・デジタル化に関心のある団体を対象にしたセミナーも実施した。

● 就業相談及び無料即業紹介業務

就職希望の相談は49件。NPO法人などへの職業紹介は求人数168人に対して求職者10人で、就職成立は2人だった。

● 就業セミナー

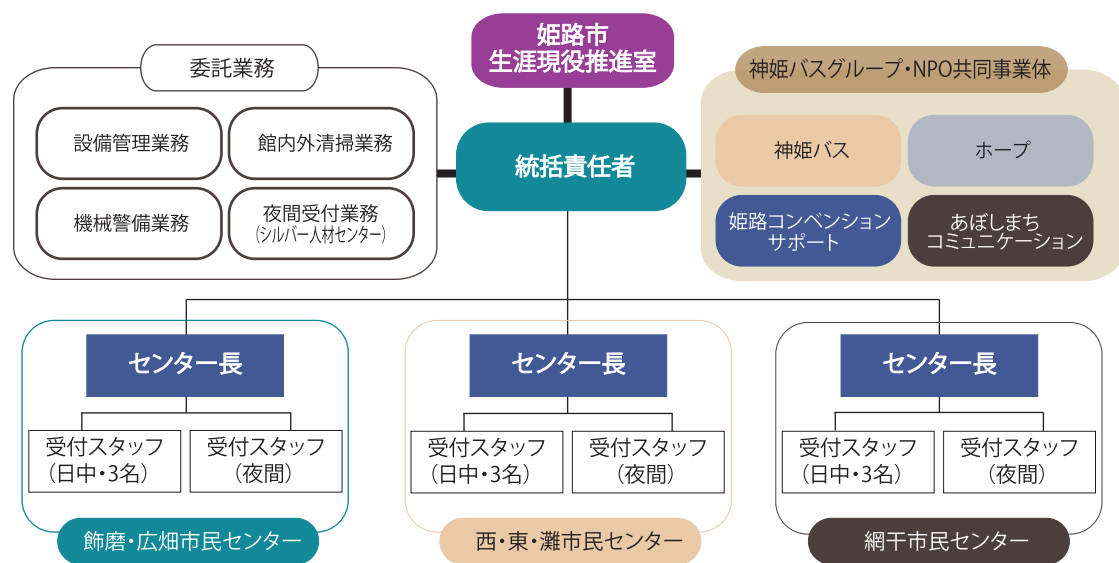
在宅ワークが増える中、取り組みやすい仕事の一つとして注目されているデザイン業務を一例に、実際の作業を学ぶセミナーを開催。13人が参加した。

⑦ 公共施設の運営、指定管理者業務に関する事業

(1) 公共施設指定管理業務 委

神姫バスグループと共同事業体を組み、飾磨・広畑・西・東・灘の5館の運営をしている。2023年度は、広畑市民センターと灘市民センターの2館で、センターで実施中の教養講座発表会を開催した。両館とも「展示発表の部」と「舞台発表の部」があり、広畑は華道や木彫、書道、箏曲、大正琴など17講座、灘は華道、絵手紙、水墨画、フラダンス、オカリナなど17講座の受講生が日頃の学習の成果を披露した。法人スタッフも告知チラシやプログラムの作成、当日の司会や運営に携わった。

また、法人の内部体制強化のため、5館の職員を集めたスタッフ会議を開催。情報交換と業務内容の統一を図るとともに、法人の仕事を理解してもらう研修を行った。なお、業務監査もあり、姫路市からは、5館における日常の業務について適切に運営されているとの評価を得た。令和6年度は、利用率のアップを目標とすることも確認した。



【実施体制】

⑧ 起業支援、事業承継マッチング支援事業

(1) 起業プラザひょうご姫路の運営 委

会員数は43人で、前年同期比6人の増。内訳はコワーキングスペース22人、スモールオフィス17人、ワーキングデスク4人。専門知識を持った支援人材は延べ262人からの相談に対応し、起業に必要なマインドや知識を身に付けてもらうセミナーや相談会は262人、交流会は320人の参加があった。新たな取り組みとして、朝来市での起業支援事業に月1回、講師を派遣した。交流会では「ピッチバー」を月1回開催。アルコールやソフトドリンク、おつまみ付きの肩肘張らないリラックスした雰囲気、会員・非会員が取り組みを発表する場を設け、回を重ねるごとに参加者が増える。

起業プラザひょうご姫路は、利用料金の安さや立地条件の良さだけでなく、業種は違えども同じ志を持つ者がイベントやセミナー内でアイデアを出し合ったり、異業種で連携し事業を始めた、和気あいあいとした親しみやすさが魅力となり、会員数も増加している。「スタッフも親身になって相談に乗ってくれ、背中を押してくれた」と評価する声も聞かれる。



起業プラザひょうご姫路
ホームページ



毎月第4火曜日に実施されるピッチバー

感謝



寄贈いただきました！

起業プラザひょうご姫路は、ワンフロアにコワーキングスペースとワーキングデスク、スモールオフィスがあるこじんまりとした施設です。プライバシーに配慮したオンラインブースの設置を希望する声が多く寄せられたところ、三菱UFJ銀行姫路支店様から「50万円の寄付を」とお声がけをいただきました。

地元グローリー企業様の施工により、12月に無事完成。多くの会員に利用いただいています。なお、このブースは一般にもご利用いただけますので、ぜひご利用ください。

番外編

高校生のための起業セミナー

新たな事業を創造し、リスクに立ち向かう姿勢を醸成することで、地域活性化を図ることを目的とした起業セミナーを開催。中播磨管内に居住・通学する中高生を対象に実施しました。

全5回の講座を通じて、大阪公立大学小沢教授がコーディネーターを務め、地元の企業経営者との座談会やセミナーを通じてアイデアの生み出し方などを学びました。最終日には、グループごとに発案したアイデアを発表し、審査員にも好評でした。



▼日程 7月29日（土）～9月11日（月） 全6回 ▼参加者 16名

令和5年（第22期）
2023年度活動計算書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

(単位 円)

科 目		金 額		
経常収入	事業収入			
	コンベンション開催に関わること	4,431,770		
	人材育成に関わること	4,148,602		
	情報発信に関わること	549,094		
	調査研究に関わること	3,450,179		
	普及啓発に関わること	2,592,933		
	中間支援に関わること	283,891		
	公共施設の運営・指定管理者業務に関わること	47,130,310		
	起業支援・事業承継マッチング支援に関わること	14,782,807	77,369,586	
	入会金収入	10,000		
	正会員会費収入	46,800		
	賛助会員会費収入	47,400		
	補助金収入	14,841,883		
	寄付金収入	501,600		
	受取利息収入	290		
経常収入 計			15,447,973	92,817,559
経常支出	事業費	事業 支出		
		コンベンション開催に関わること	1,630,088	
		人材育成に関わること	1,950,063	
		情報発信に関わること	689,829	
		調査研究に関わること	4,242,919	
		普及啓発に関わること	1,022,822	
		中間支援に関わること	1,101,612	
		公共施設の運営・指定管理者業務に関わること	3,408,258	
		起業支援・事業承継マッチング支援に関わること	2,635,665	16,681,256
		給料 手当(事業)	37,315,989	
		消耗品費(事業)	92,290	
		当期事業費 計	54,089,535	54,089,535
	管理費	給料 手当	18,312,032	
		法定福利費	4,169,275	
		福利厚生費	312,988	
		通 信 費	318,509	
		水道光熱費	228,090	
		旅費交通費	562,943	
		広告宣伝費	14,256	
		接待交際費	35,206	
		会 議 費	154,668	
		事務用消耗品費	199,017	
		備品消耗品費	200,200	
		地代 家賃	606,364	
		車両燃料費	130,709	
		保 険 料	189,180	
		租税 公課	954,190	
		慶 弔 費	4,630	
		諸 会 費	187,456	
		リース 料	415,600	
		支払手数料	19,339	
		管理 諸費	456,627	
		長期前払費用償却	48,120	
		減価償却費	465,318	
		雑 費	410	27,985,127
		管理費 計		
		経常費用 計		82,074,662
		税引前当期正味財産増減額		10,742,897
		法人税等		1,297,500
		当期正味財産増減額		9,445,397
		前期繰越正味財産額		36,962,922
		次期繰越正味財産額		46,408,319

令和6年（第22期）
2024年度事業計画

法人のミッションを理解し、自主事業を創造しよう

今年度の事業のテーマは自主事業の強化。足元を見直し、ミッションを理解して事業に取り組む。社会課題は何かを的確に捉え、我々が24年に渡って培ってきた強みとスタッフの経験を活かし、新しい事業に着手したい。

そのため、事務所業務もDX化を図り、効率の良い体制を整える。特に、多様な働き方となり、煩雑化する勤怠管理や給与管理の合理的なシステムを構築し、現場対応をする。

また、観光DXにも着目。人材不足と言われる観光にITの力を導入し、よりよいサービスの提供に努める。特に、昨年度開発をした観光ガイドアプリのPRや活用に力を入れ、観光客が自分のペースで姫路城周辺を楽しめるようPR活動と整備を実施する。

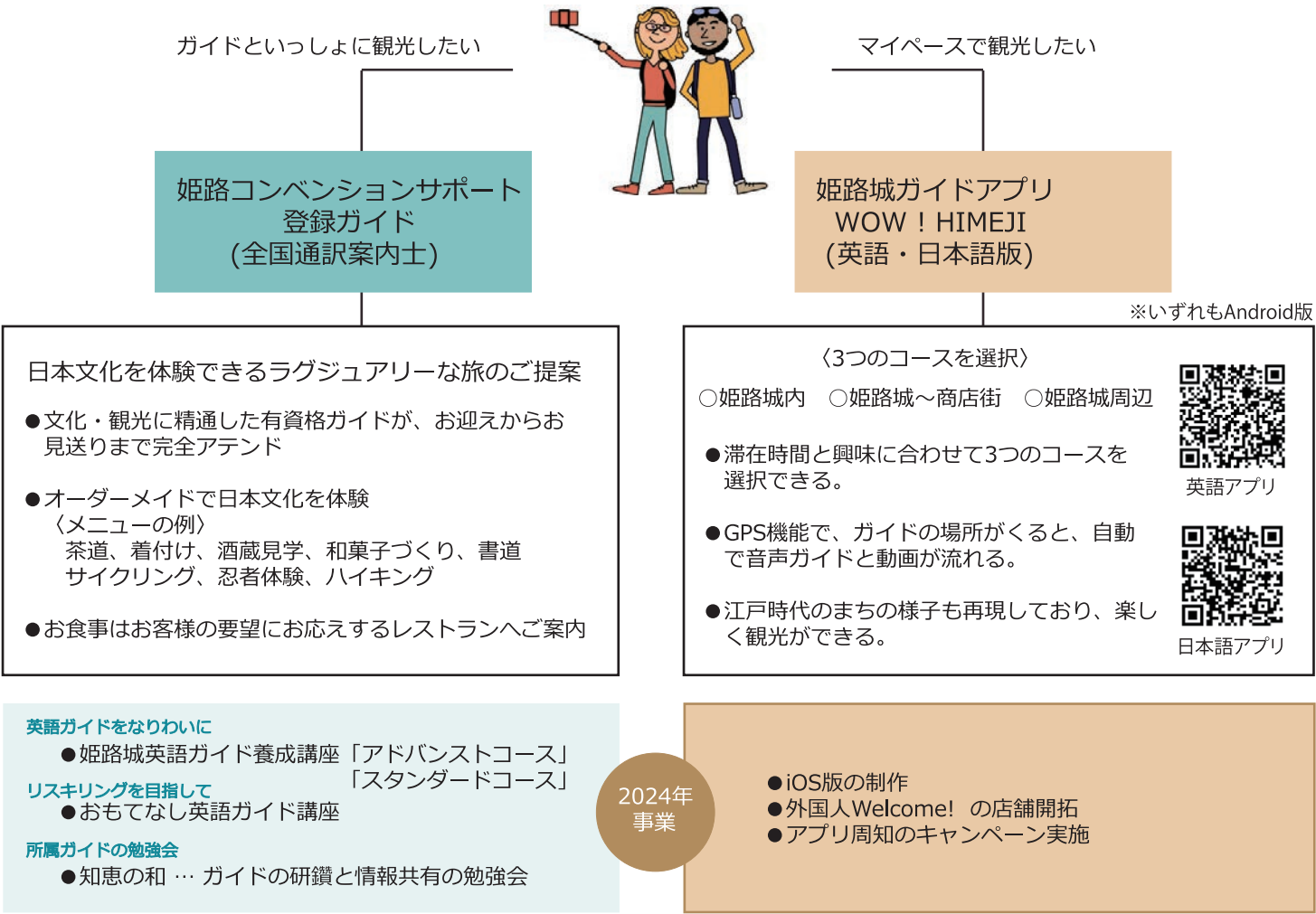
他にも、法人営業を実施し英語ガイド派遣事業を強化。自主事業として実施してきた養成講座の定着化、発展に努めたい。

姫路コンベンションサポートの目指す観光英語ガイド事業

P3・P10=参照

「姫路での滞在時間を増やしたい」「姫路城を通じて、日本文化のすばらしさを知ってほしい」
そんな思いから、フルアテンドのガイドから自由にプラン選択ができるアプリまで、様々なガイドを提供するプロジェクトを実施しています。

バリエーション豊富な観光ガイドで来訪者のおもてなし



① コンベンションの開催支援事業

アクリエひめじ等市内コンベンション施設で開催される学会等のエクスカーションをはじめ、各種イベントの企画・運営を行う。
〈実施予定のイベント〉

(1) すこやかウォーク(主催/株式会社ゴダイ様) 委

(2) ヘルス＆ビューティーフェスタ2024但馬・姫路(主催/株式会社ゴダイ様) 委

(3) 大手前通り賑わい活性化事業「ほこみち」事務局 委

大手前通り「ほこみち」エリアのイベント・出店希望者の予約ならびに運営指導窓口を実施する。

② 人材育成事業

(1) 銀の馬車道・鉱石の道 高校生ワークショップ2024 委

昨年度に引き続き随意契約で実施する。今年は、沿線各地の高校に通う学生が中心となり、みどころやバズる「動画」を作成し、その魅力を発信する。高校生には動画企画のコツ、絵コンテの描き方などの基礎も学習する。

(2) 中間支援支援活動助成金(ひょうごボランティアプラザ補助金) 自

姫路のみならず、西播磨・中播磨地域で活動する市民活動団体のサポートを行う。セミナーの実施や交流会なども開催するとともに、定期的な相談会も実施する。

(3) 姫路城英語ガイド養成講座 自

昨年に引き続き、「全国通訳案内士」の有資格者を対象に講座を開講し、有料ガイドを増強する。特に、今年度は、VIPクラス(専門家や富裕層)向けのガイドを育成する「アドバンスト講座」を開講予定。幅広いニーズに応えられるよう、ガイドの質も高めたい。

(4) 播磨国歴史観光ガイド育成事業(ひょうごボランティアプラザ補助金) 自

播磨地域には、中世赤松の城など数多くの史跡が存在し、それを案内するガイドグループがある。グループの多くはボランティア組織で、日頃から精力的に活動している団体がある一方、研修や団体運営の費用に余裕がなく、継続した活動が難しい団体もある。そこで、普段交流することのないグループが集って研修を行い、個々の知識やガイド活動に関するノウハウの研鑽を行い、抱える課題を解決する。

③ 情報提供事業

(1) 姫路城英語観光ガイド 自 P2・P9=参照

外国人観光客に姫路城周辺のガイドをする全国通訳案内士(有資格者)の派遣を行う。

Guide Plan

① 姫路城〈2～2.5時間〉

② 姫路城＋好古園〈3時間〉

③ 書写山門教寺〈5時間〉

.....

.....

.....

17,600円

21,300円

応相談



予約はこちら

(2) 姫路城下町ガイドプロジェクト(姫路市観光産業補助事業) 自 P3・P9=参照

令和5年度開発した観光ガイドアプリ(日本語/英語)の機能拡充およびPRを行う。今年度はiOS版を制作予定。令和7年度には有料化を進めたいことから、大阪公立大学に依頼しマーケット調査も実施する。

(3) アンテナショップ電博堂の運営 自

御幸通商店街にあるアンテナショップ。チャレンジショップとしても活用してもらうため、人材育成の観点も視野に入れた活動を実施。起業プラザひょうご姫路での創業支援とも連携する。

④ 調査研究、政策提言事業

(1) 孤独・孤立対策のための中間支援3.0『ひょうごモデル』推進事業 新 自

播磨には、市民活動団体等をサポートする“中間支援”と呼ばれる支援事業が少なく、特に西播磨は空白地域となっている。よりよい活動支援とは何かを研究する。市民活動団体を支援する「中間支援団体」が求められている役割は何かを研究し、効果的な支援活動に結ぶ事業。兵庫県下で活動する中間支援NPO法人7団体とともに共同で取り組む。今年度はセミナーと伴走支援、空白地域のサポートの3事業を実施。

⑤ 普及啓発事業

(1) 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」サイクルトレイン 委

生野までサイクル車を播但線に積み込み、電車での旅を楽しんだあと、飾磨から生野まで続く銀の馬車道のサイクリングを楽しむ。一部健脚なサイクリストは、生野から神子畑までの鉱石の道も走行する。

(2) 銀の馬車道グルメで魅力アップ事業 委

「白皮かぼちゃ」を使ったグルメで銀の馬車道を広くPRするプロジェクト。沿線各地のレストランでかぼちゃを使ったメニューを提供していただいたり、レシピコンテストを実施したりと、老若男女問わず楽しめる。

(3) 銀の馬車道自然体験プログラム(中播磨県民センター補助金) 新 自

銀の馬車道沿線の自然や歴史に触れ、郷土愛や自然愛を育めるようなイベントを開催する。同時に、地域外からも参加を促し、魅力を体感し、ファンになってもらいたい。市川町の棚田での自然体験をはじめ、坊勢島の漁業体験など、多種多様な6つのプログラムを企画中。家族連れで楽しめるものにした。7月から11月にかけて実施予定。

⑥ 公共施設の運営、指定管理者業務に関する事業

(1) 公共施設指定管理業務 委

2020年から5か年にわたる市民センター運営の最終年度にあたり、今年度は再公募となる。これまでの共同事業体メンバーが一丸となり再選に向けて取り組む。新規案件についても情報収集を強化し、取り組んでいけるよう関係構築を図る。

⑦ 起業支援、事業承継マッチング支援事業

(1) 起業プラザひょうご姫路の運営 委

2期目の2年目にあたり、より「姫路らしい」起業家育成、特に「ものづくり」や「観光」に注力し、事業を進めている。特に、5月からものづくりバー“Fab BAR”を実施中。横の連携を強化して新しいものづくりを生み出したい。

● 高校生と企業の新ビジネスにつながるアイデアカフェ事業 委

中播磨県民センターが主催となり実施する、高校生とものづくり企業との協働事業。高校生の斬新なアイデアで、中播磨地域のものづくり企業とともに新しいビジネス創出に取り組む。5回のセミナーのあと、9月11日には、審査員に向けて「ピッチコンテスト」を実施する。

令和6年度 収支予算書

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日

(単位:円) 税抜き

科 目	2024 (令和6) 当初予算	2023 (令和5) 予算	増 減
I 経常収入			
事業収入	76,000,000	71,000,000	5,000,000
正会員会費収入	100,000	100,000	0
補助金収入	4,750,000	6,500,000	△1,750,000
寄付金収入	50,000	50,000	50,000
受取利息収入	300	250	50
雑 収 入	1,540,000	10,000	0
経常収入 計	82,440,300	77,660,250	1,530,000
II 経常費用			
1. 事業費			
事業 支出	9,000,000	10,000,000	△1,000,000
給料 手当(事業)	31,000,000	44,000,000	△13,000,000
消耗品費(事業)	1,000,000	100,000	900,000
事業費① 計	41,000,000	54,100,000	△13,100,000
2. 管理費			
研 修 費	30,000	30,000	0
給料 手当	24,000,000	13,000,000	11,000,000
法定福利費	5,000,000	4,800,000	200,000
福利厚生費	350,000	300,000	50,000
通 信 費	350,000	360,000	△10,000
水道光熱費	250,000	200,000	50,000
旅費交通費	600,000	280,000	320,000
広告宣伝費	50,000	250,000	△200,000
接待交際費	50,000	120,000	△70,000
会 議 費	170,000	150,000	20,000
事務用消耗品費	200,000	60,000	140,000
新聞図書費	10,000	0	10,000
修 繕 費	0	0	0
地代 家賃	1,320,000	676,000	644,000
車両燃料費	150,000	110,000	40,000
保険料	200,000	111,000	89,000
租税 公課	1,000,000	884,000	116,000
慶 弔 費	20,000	20,000	0
諸 会 費	150,000	157,000	△70,000
リース 料	400,000	350,000	50,000
支払手数料	20,000	115,000	△95,000
管理 諸費	450,000	867,000	△417,000
長期前払費用償却	48,000	48,000	0
減価償却費	465,000	243,100	221,900
雑費	30,000	43,000	△13,000
管理費② 計	35,313,000	23,174,100	12,138,900
支出合計①+②	76,313,000	77,274,100	△961,100
収支差額(税引前)	6,127,300	386,150	5,741,150

NPO法人
姫路コンベンションサポート
ミッション

私たちは本気で「まち」を
おもしろくしたい人を
全力でサポートします

NPO法人
姫路コンベンションサポート
クレド(信条)

全力サポートするために「だれにでもモテる人になる!」

私たちは、相手の立場で考え、感謝の心で接し行動することで、地域の人にも仲間にも愛され、信頼される人になります。結果、様々な人たちとのネットワークができ、あらゆる情報を収集・共有していきます。

全力サポートするには「なにごとにも挑戦し続ける!」

私たちは、経験豊かで多様な個性を活かし、自律心と向上心を持って取り組みます。目の前にあるものをそれだけで終わらせず、+αし続けるところが姫路コンベンションサポートらしいサポートの形です。

全力サポートを目指して「とにかく仕事を楽しむ!」

私たちは、ともに同じ汗をかき、役立てることを喜び、笑顔で「人」に向き合います。私たちが仕事を楽しむことは、本気で「まち」をおもしろくしたい人を全力サポートする第一歩です。

NPO法人姫路コンベンションサポート コンプライアンス規程

行政から委託事業や補助金などの公的資金を受けるNPO法人として、透明な運営ができるよう、法令を遵守し健全な運営をします。

こちらからご覧ください。→



私たちの歴史

24年にわたり歩んできた道のりをご紹介します。
継続実施事業は原則初年度のみ記載していますが、事業総体としては年々規模を大きくしており皆様のご理解とご協力の賜物であると感謝の一語に尽きます。

2000年	ひめじ良さ恋まつり実行委員会の立ち上げ
2001年	第2回ひめじ良さ恋まつり 開催
2002年	7月8日 特定非営利活動法人(NPO法人)取得
2003年	4月28日 御幸通商店街に電博堂オープン
2004年	はりまでギネス!活動 始動 町の情報番組「ぱくっ!デンパくんのええとりどりラジオ」1時間放送へ 第1回「お夏清十郎節」全国大会 運営受託
2005年	日本青年会議所全国大会姫路大会 関連事業受託
2006年	8月 外国人向け観光ガイドプロジェクト始動 9月 のじぎく兵庫国体 関連事業受託 11月10日 姫路城英語観光ボランティア養成講座 開講
2007年	8月1日 人情喜劇「銀の馬車道劇団」設立 10月 人情喜劇「銀の馬車道」福崎初演
2008年	4月 姫路菓子博2008 関連イベント受託
2009年	7月19日 銀の馬車道アンテナショップオープン 11月22日「たまちゃん街の駅」オープン
2010年	7月 姫路港開港50周年関連事業受託 10月 姫路大道芸フェスティバル 開催
2011年	8月 福崎町制55周年人情喜劇「柳田國男と河童」上演 11月 B-1グランプリin姫路 関連イベント受託
2012年	4月～ 姫路市地区市民センター(飾磨・広畑)指定管理者業務 受託
2013年	4月～ 元町週末マルシェ事業開始 11月 姫路市南町76番地に事務所移転 3月31日 播磨国総社三ツ山大祭運営受託
2014年	4月～ 姫路市勤労市民会館指定管理者業務受託、ふるさと宍粟PR館「きてーな宍粟」オープン 5月 コワーキングスペース電博堂オープン
2015年	4月～ 姫路市地区市民センター(飾磨・広畑・西・東・灘)指定管理者業務受託
2016年	7月 ふるさと宍粟PR館「きてーな宍粟」リニューアルオープン
2017年	2月 小泉武夫講演会(宍粟市)
2018年	我がまちの人情喜劇「銀の馬車道」～演劇が生んだ地域のつながり 出版
2019年	8～12月 日本遺産銀の馬車道・鉱石の道高校生フォーラム 開催
2020年	6～3月 高校生による日本遺産魅力発見ワークショップ 7月 起業プラザひょうご姫路オープン 10～3月 西播磨山城上質ガイド養成講座 開講
2021年	10月 銀馬車かぼちゃグルメプロジェクト 受託
2022年	7～11月 高校生のための起業セミナー
2023年	1月 自動運転ロボットを使った観光商品開発 3月 女子高生SDGsサミット2023inHIMEJI 開催
2024年	姫路城英語ガイド養成講座 開講 姫路城下町プロジェクト始動、Android版ガイドアプリ開発

組織体制(五十音順)		
理 事	石井(玉田) 恵美	NPO法人姫路コンベンションサポート理事長 御幸通商店街振興組合専務理事・大手前通り街づくり協議会副会長
	石井裕之	フリーランス、文筆家
	岡本一	株式会社大陸 代表取締役社員 大手前通り街づくり協議会会長・姫路城を守る会 会長 他
	小川陽平	農業生産法人小川農園 専務取締役
監 事	小川亮一	株式会社マルタ産業 取締役会長
	鎌谷正弘	株式会社カマタニ 代表取締役社長
	藤原正彦	株式会社藤原園 代表取締役社長
顧問		佐賀とも子 オフィスありがとう代表
ス タ ッ プ	秋定宣子	西市民センター
	阿部真	西市民センター所長
	網引一博	灘市民センター
	荒井ひろ子	事務所・経理
	井上修男	広畑市民センター
	加藤丈太郎	起業プラザひょうご姫路
	川治陽子	飾磨市民センター
	北野弘司	東市民センター所長
	木下祐美子	起業プラザひょうご姫路
	小谷由紀	広畑市民センター
	真田夢子	起業プラザひょうご姫路
	菅原真弓	広畑市民センター
	炭崎徹	広畑市民センター所長
NPO法人姫路コンベンションサポート 理事長		主任
玉田(石井) 恵美		依田 法子
1969年12月8日 兵庫県赤穂市出身		よだのりこ 1983年4月28日 兵庫県佐用町出身
山口大学人文学部語学文学科フランス語研究室 卒業 大阪市立大学大学院 創造都市研究科公共政策専攻修了		川崎医療福祉大学医療技術部卒業 言語聴覚士
役員 姫路御幸通商店街 専務理事 大手前通り街づくり協議 副会長		専門 公共施設マネジメント 市民活動ボランティア支援
事務局長		
東 夏子		生尾知子
あずまなつこ 1978年7月23日生まれ 兵庫県姫路市在住 専門 公共施設マネジメント / 紙面デザイン(紙ならなんでもやります)		なまおともこ 1978年12月26日 兵庫県たつの市出身 「自然・素直・一生懸命」をモットーに、日々がんばっています。姫路コンベンションサポートで、たくさん人や経験に出会えたことを感謝し、これからも新しい事へチャレンジしていきます。
(主な来歴) 2005年5月 姫路コンベンションサポート 入社 2012年2月 姫路市市民センター統括責任者としてNTTファシリティーズに移籍。営業マンに。 2024年1月 姫路コンベンションサポート 再入社(満を持して?)		高見千晴 たかみちはる 1974年2月13日 兵庫県上郡町在住 担当 英語ガイド育成 台湾放射光研究センター(NSRRC)のエグゼクティブアシスタントを経て、姫路コンベンションサポートに入社。姫路城英語観光ガイド育成担当。